

和の光

宝塚市立西谷中学校



新たなスタートに向けて

校長 筒井 啓介

早いもので、今日、令和6年度の修業式を迎えることとなりました。卒業生をはじめ、1・2年生の皆さん全員が、この1年間、日々の学習や生徒会活動、行事、部活動などに積極的に取り組み、大きな成果を上げることができました。また、これらの活動を通して、一人ひとりが大きく成長したことが実感でき、とても嬉しく思います。そこで、今の学年を修了するに当たり、次の3点を新たなスタートに向けたステップとして欲しいと思います。

1点目は、「自分自身の成長について」です。1・2・3学期と過ごす中で、学習面や生活面、係・委員会活動や行事、清掃・給食当番や部活動など、積極的に取り組んできたことと思います。努力してきたこと、粘り強く継続してきたことを、頭の中で思い浮かべてみてください。そうした活動は強く印象に残っているはずです。いくつあっても構いません。思い浮かべましたか。まずは、自分自身を褒めてあげてください。こうした取組を継続することにより、自信となり、実力となり、やがて成果が現れてくるのです。まだ、成果を実感できていないという人がいたとしても、心配することはありません。こうした努力する姿勢こそ、価値があるのです。努力を継続していれば、今後、必ず成果をもたらすことになるでしょう。

2点目は、「集団の成長について」です。日常的な活動から行事まで、様々な活動において、学級で協力する場面があったと思います。皆さんは、そして皆さんの学級は、協力できましたか。時には、試行錯誤したり、意見が衝突したりすることもあったことと思いますが、乗り越え、やり遂げた時には、充実感や達成感があったことと思います。学校においても、将来、就職する職場においても、個人だけではなく、多くの人たちと協力する活動が数多くあります。個人としてはできないことでも、一人一人が目的や目標を理解し、集団として協力することにより、大きな力を発揮することができます。みなさんも、様々な過程はあったことと思いますが、それぞれの学級が、何度も困難を乗り越え、大きく成長してきたのではないのでしょうか。次の学年においても、様々な活動において協力し、素晴らしい集団、素晴らしい行事などを創り上げて欲しいと思います。

3点目は、「自分の殻を破ること」です。自分は「本当はやってみたい」、「本当はこうなりたい」のに、なかなか一歩を踏み出せない。想いや理想はあるのに「うまくいかなかったらどうしよう」、「自分にはできない」、「失敗したら恥ずかしい」と、自分自身でストップをかけていませんか。ブレーキの正体は自分の中の不安や決めつけ、過剰な思い込みかもしれません。本当は、自分はどうしたい、どうなりたいのでしょうか。皆さんには無限の可能性が 있습니다。うまくいかないことや失敗をしても、その経験は絶対に無駄にはなりません。素直な自分の姿でいられるように「自分の殻を破って欲しい」と思います。さて、次に会うのは4月7日の始業式です。皆さんは進級し、2年生、3年生として会うことになります。4月9日には、入学式を行い、新入生を迎えます。春休み中には、一人ひとり、上級学年としての意識を高め、新たな目標をもって欲しいと思います。それでは、4月に元気な顔で皆さんと会えることを楽しみにしています。

新しい今日を

宮澤 章二

消えてしまったものが たくさんある
これからやって来るものも たくさんある

消えてしまったものが なつかしいときは
しばらく うしろを振り向けばよい

けれど 振り向いてばかりいるのは愚かだ
うしろは見えても 前の風景が見えない

私たちの人生は つねに 前方にある
前方にあるからこそ 人生はつねに新しい

これからやって来るものは たくさんある
数えきれないほどのものが私たちを呼ぶ

無数の未知なるものとの出会い を求め
つねに<新しい今日>を充実させていこう



■離任される先生のご紹介

今回の人事異動で異動・退職になる先生を下記に紹介させていただきます。なお、着任者については4月7日の着任式にて紹介させていただきます。

・坂口 麻里先生：(宝塚中学校へ異動)

3年生の担任、国語の授業、生徒会、女子ソフトテニス部でお世話になりました。文字を通して自分の考えを適切に表現できるように指導をしてくださりました。厳しさの中に生徒の将来を見据えた優しさを感じました。新しい学校でのご活躍をお祈りします。

・南 敬子先生：(退職)

10月から国語の授業でお世話になりました。授業では対話を重視しながら、一人一人の生徒の活躍の場を設けてくださりました。また、3年生の受験に際しては小論文の書き方や国語の補習など、生徒の心に寄り添いながら丁寧な指導をしてくださりました。これからもお元気にご活躍ください。